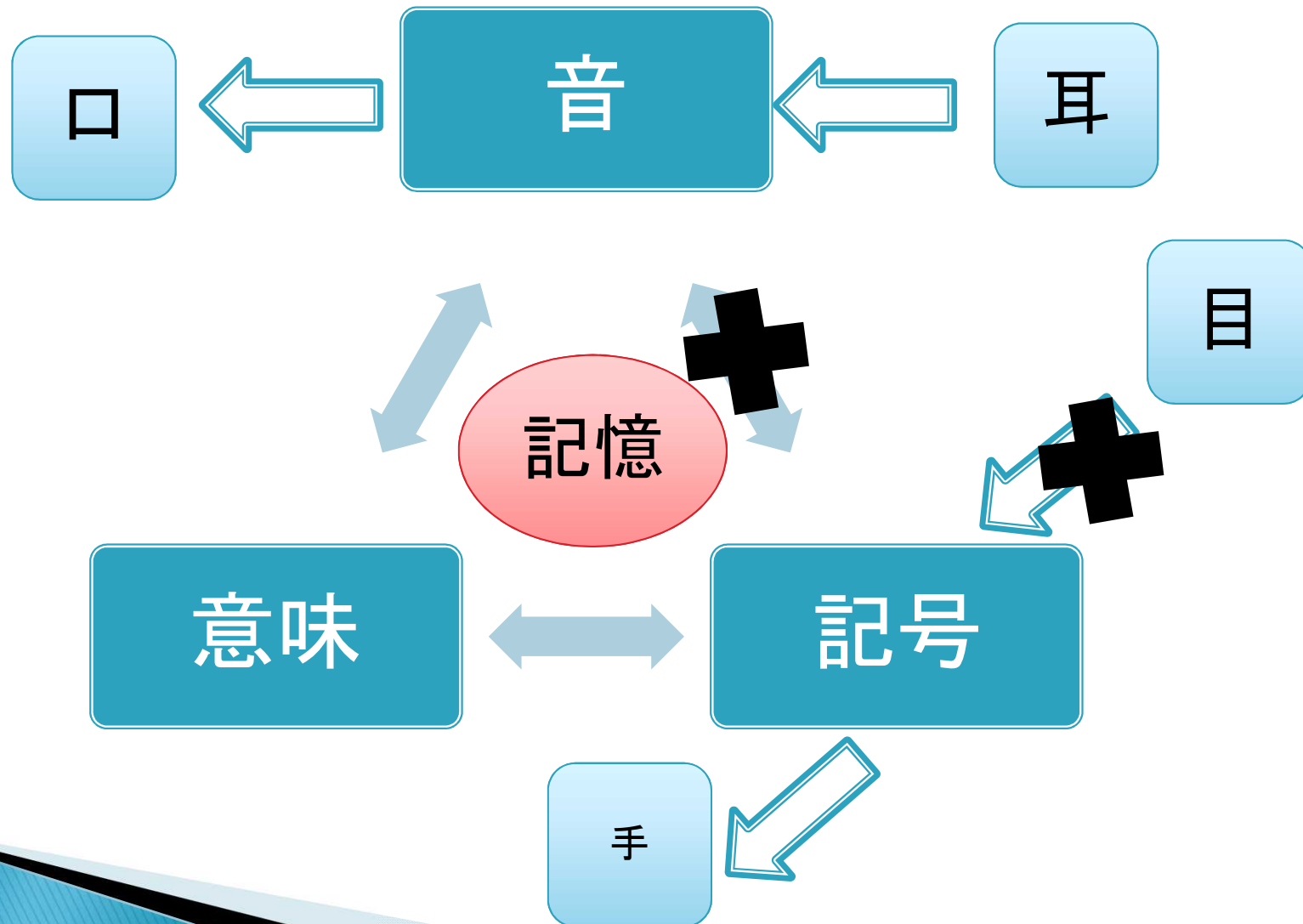


音声教材BEAM

NPO法人エッジ

ディスレクシア 読みの速さ 流暢さ 正確さに困難



音声教材BEAMの開発

音声教材 BEAMとは…

聞きやすい人工音声を使い、簡単に手に入れることができ、安価で、素早く、使いやすい、いろいろな機器で使え、どこからでも手に入れることのできる音声教材です。

B → Bright
E → EDGE
A → Audio
M → Material



Dyslexia ディスレクシアとは…

ディスレクシアとは、知的に問題はないものの読み書きの能力に著しい困難を持つ症状を言います。十分な教育の機会があり、視覚・聴覚の器官の異常が無いにも関わらず症状が現れた場合に称します。文字と音を結びつけることが困難なため、音読をするときに、スピード、流暢さと正確さに影響します。

【教育における合理的な配慮とは…】障害者の権利に関する条約「第二十四条」教育において「個人に必要とされる合理的配慮が提供されること。」が位置付けられています。文部科学省のホームページでは読みが困難な児童生徒に対して「読み上げるといふ教材等の配慮として挙げられています。
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyok3/044/attach/1297380.htm

【教科書の著作権について】「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」(以下「教科用特定図書等普及促進法」といふ。)が議員立法により第169回国会において成立し、平成20年6月16日に公布され、平成20年9月17日に施行されました。この法律に基づいてNPO法人エッジでは障害を持つ児童生徒のために教科書を複製することのできる団体として登録されています。デジタルデータを加工して教科書を音声化してお届けしますが、用途以外の目的に頒布することや使用することは著作権法を侵害することとなります。ご使用に当たっては用途以外に使用しないことをお約束ください。また、文化庁の「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」も一読ください。

【個人情報取扱い】NPO法人エッジでは、利用者の個人情報について、「個人情報保護法」に基づいて適正な管理を行うとともに、個人情報の漏洩に努めます。今回提供された音聲の複製はディスレクシア及び発達障害に関連した各種の企画、音声化された教材の使用についてのお問い合わせ以外には使いません。また、アンケートなどにご協力いただけても不利益になることはありません。

音声教材 BEAM

ビームご使用手順

NPO法人EDGEのホームページ「事業」からプルダウンして音声教材を選ぶ

試聴
試しに聞いてみましょう

利用申請
つかうために申込み
名前、住所、メールアドレス、団体名、学校名、必要な教科書の情報を記入ください

「使用に当たっての注意事項に同意し、上記の内容でBEAMを申し込む」をクリック

エッジからIDとパスワードがついたメールが届きますのでURLに飛んで記入してください

出てきたリストから必要な教材をクリックしてダウンロードしてください。
PCにダウンロード後は好きな教材に取り組んでお使いください。

不明な場合は、下記EDGEまでお問い合わせください



EDGEとは…

ディスレクシアの啓発、支援とネットワークを目的として活動しています。

- 啓発 各種出版物、映画、講演など
- 支援 学習支援員養成講座、相談、キッズ&ティーンズ、DX会など
- ネットワーク JDDNET、国内外のディスレクシア関連団体など

料金：利用料金は基本的に無料です
問い合わせ先: edgewebinfo@npo-edge.jp 03-6435-2209

21年、22年、24年度文部科学省
「民間組織・支援技術を活用した特別支援教育研究事業」
日本財団助成事業 / 東京南ロータリークラブ助成事業
寄付：日本フィランソピー協会を通じてNNNTデータより



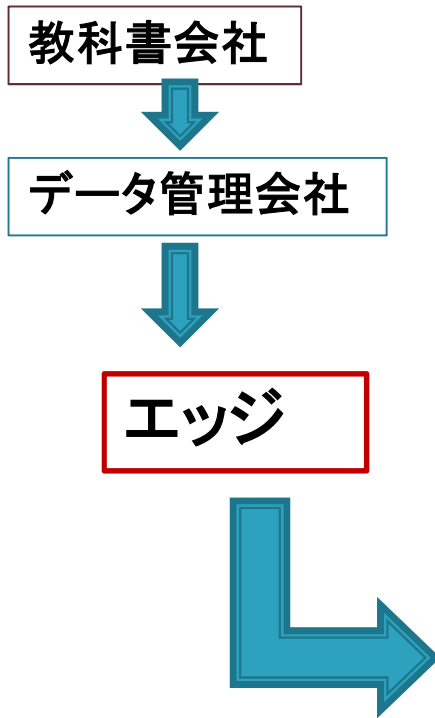
音声教材 BEAM

ビーム

ディスレクシアとは、知的に問題はないものの読み書きの能力に著しい困難を持つ症状を言います。十分な教育の機会があり、視覚・聴覚の器官の異常が無くても関わらず症状が現れた場合に称します。



音声化の手順



- ① 送られてきたテキストデータから、音声化する台本を作る(不要な部分の削除、適切な休止挿入、順番の入れ替え等)
- ② 音声化する(人工音声プログラム声の職人)
- ③ 音声化されたものを全部聞いて、正しいかどうかチェックする(読み方、アクセント、イントネーション)
- ④ チェックした箇所を修正する
- ⑤ 修正箇所を再度聞き、チェックする(誤りがあれば、またここで修正へ)
- ⑥ 最終チェック

特徴 教科書の本文を中心に音声化



内容が一貫性のあるストーリーとして伝わるために、いわゆる本文以外の文字表示(例:挿絵の解説文、年表、地図の地名、吹きだしの言葉等)は、削除してある。

国語: 物語、説明文、手引き等を一つの単位としている。
社会: 基本的に見開2ページ分の、小タイトル単位。

特徴 音声のみの教材

- ▶ 人間の音声进行分析した上で作成する人工音声プログラムを使用
- ▶ 国語・社会など読み方、イントネーションを調整して「正しい日本語」が耳から入るよう作成
- ▶ MP3の形式で、ダウンロードできる



このような特徴から考えられる使用効果

- ▶ 話の概要をつかむことで、学習の見通しを持つ
 - ・予習として
 - ・授業の導入として
- ▶ 学習の概要を振り返り、印象に残す
 - ・復習として
 - ・授業のまとめとして
- ▶ 教科書と合わせて聞くことで音読の練習になる

「文字の読み」を支援するための教材ではなく、「読み」にかかる負担をなくすことで直接内容理解に繋がれることがねらいである

入手方法 ホームページより

音声教材BEAM

[BEAMの使用手順](#) | [申請から使用までの流れ](#) | [BEAMの使用申込み](#) | [よくある質問 \(Q&A\)](#)

音声教材について

ディスレクシアの方は音声化された情報の方が理解が進むことがあります。

また、教科書を見ながら、音声で聞くことで文字と音と意味が繋がることもあります。

NPO法人エッジでは教科書の中から国語の物語の部分などを中心に音声化したものをダウンロードできるようにしました。

ディスレクシアを含むLD、学習に困難さを持っている児童生徒に無償で提供しています。

現在使用可能な教科書は下記の通りです。(平成28年度版)

【小学校】	国語	光村図書・東京書籍・教育出版・三省堂・学校図書
	社会	東京書籍・教育出版
【中学校】	国語	光村図書
	地理	東京書籍・教育出版・帝国書院
	歴史	東京書籍・教育出版・帝国書院・清水書院
	公民	東京書籍・教育出版・帝国書院・清水書院

音声教材BEAMは、エッジとBEAMを利用しているみなさんでいっしょに作る教材です。みなさんの意見を聞かせてね！



入手方法 こんな情報を入れてください

お名前(ふりがな)

お立場:保護者 学校の教員 学校以外の指導者 その他

メールアドレス

住所

電話

利用者名(ふりがな)

学校名

学年

アセスメント経験の有無

具体的な読みの困難さ

必要教科 出版社名

今年度の作成状況

(2017年8月現在)

【作成教科書点数】

小学校国語	4社	30冊
小学校社会	2社	12冊
中学校国語	4社	12冊
中学校地理	3社	3冊
中学校歴史	5社	5冊
中学校公民	4社	4冊
※中学校理科	1社	1冊(検討用として作成)

今年度の申し込み状況

(2017年8月現在)

【申込者数】

134名

- ・保護者 106名
- ・学校の教員 19名
- ・学校以外の支援者 8名
- ・本人 1名
- ・教育委員会 0名

どのように活用されているか

【家庭学習で】

ボイスレコーダーで1.3倍速にし、手元の教科書と自分をつなぐものとして活用している。

主に予習用として、パソコンにダウンロードし、家庭での夜の学習で使っている。大変助かっている。

自宅で夕方などの宿題の時間に、音読練習などを目的として、ipadで利用している。

また始めたばかりだが、音読が苦手なので、聞いて理解しやすくなったように思う。

どのように活用されているか

【通常の学級で:私立中学校】

【方法】

社会の学習開始時に予習の時間(黙読)を設けた。
全員がタブレット持参。必要な生徒が音声教材を使用。

【成果】

多動傾向の生徒が集中して参加

私語が多い生徒にも授業に関係ある発言がでた

開始時の活用でクールダウン効果・集中力の向上

確認テスト正答率の変化

→言語理解が高く、ワーキングメモリーが低い生徒
に高い効果がみられた。

どのように活用されているか

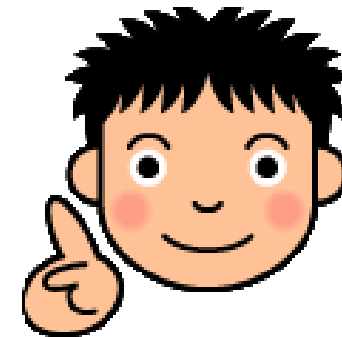
【通級指導教室】

実態：文字を見たくない。自分で読んでもよくわからない。
読んでもらった方が簡単。

方法：学級で学習する前に、教科書の説明文や物語を、
1回10～15分程度聞かせた。

児童の感想から

- ・どんな話か、内容がわかった。
- ・話の内容がわかって安心した。
- ・家でも聞いてみたいと思った。



どのように活用されているか

【特別支援学級】

児童の様子：

文字から情報が入りにくいという特性がある。

理科の実験等では、要点をつかむことができていた。

方法：

社会科の時間に活用

使用後の効果・現状：

内容を理解し、興味も持つようになってきている。

学校における音声教材使用上の課題

何より現場でまだ周知されていない！！

- ・周囲との関係やルール作り
- ・本人自身の自己理解と意欲

- ・セキュリティの問題
- ・手続き煩雑さの問題
- ・個人情報の問題

※ 教育委員会単位で一括して扱うといった事例も紹介されているので、今後の方向性として、期待したい。

今後、「**インクルーシブな学校**」の中で、**基礎的環境整備の一つとして**必要な時に必要な児童生徒が使える教材として活用できたらよい



ありがとうございました